

長泥地区でニホンアカガエルの観察会

観察会は「ながどろ生き物みつけ隊」に発展

長泥地区で3年間にわたりホテルの生息地・生息数の観測・記録に取り組んだ大林組の技術研究所・自然環境技術研究所。その取り組みを掲載した広報いたて令和7年8月号をきっかけに、環境省・福島地方環境事務所が同研究所に協働を呼びかけ、この春、現地でニホンアカガエルの観察会が開かれました。

加。ニホンアカガエルとヤマアカガエルの卵やオタマジャクシの他、多様な水生生物や植物を観察しました。

地区内では、トウホクサンショウウオやモリアオガエルなども生息が確認されています。観察会を企画した大林組の寺井さんは「この観察会で生まれた緩やかな連携を大切に、子ども達も参加できる観察会などにも協力したい」と今後の発展にも期待。チームは「ながどろ生き物みつけ隊」と命名されました。

4月6日の観察会には、両者の声かけで、長泥地区の自然に関心を寄せる専門家や村内事業者など約30人が参

さまざまな分野の専門家も参加しました。写真はその1人でアクアマリンふくしま（公益財団法人ふくしま海洋科学館）の吉村光太郎さん。「これだけ多様な生き物が生息できる環境ということですね。何度でも足を運びたい場所です」。



観察会に続いて「ながどろひろば」で懇談。長泥地区の自然環境のポテンシャルについて意見を交わし、さらにはその豊かさを多くの人に知っていただくためのアイデアなども話し合われました。



環境省の情報施設「ながどろひろば」に集合し寺井さんらの案内で地区を巡りました。身近な場所の豊かな自然環境を実感。



ニホンアカガエルの卵やオタマジャクシが複数の水辺で確認されました。



大林組の寺井さん（左）とホテルの調査に参加をしてきた株式会社緑生研究所の金子賢太郎さん。昨年からは両生類や哺乳類の調査も行っていて、鳴き声を確認しているトウキョウダルマガエルの個体の発見にも取り組んでいます。



大林組の寺井さん（左）とホテルの調査に参加をしてきた株式会社緑生研究所の金子賢太郎さん。昨年からは両生類や哺乳類の調査も行っていて、鳴き声を確認しているトウキョウダルマガエルの個体の発見にも取り組んでいます。

NHK ラジオ深夜便「景色の見える音楽」で話題のピアニスト

守時タツミ 景色の見える音楽会

5月31日 日

交流センター「ふれ愛館」

開場 午後1時30分 開演 午後2時

料金 500円（中学生以下は無料）

申込 電話 0244-42-0072 / FAX 0244-42-0860
 ※土日祝日を除く午前9時～午後5時
 メール kouminkan@vill.iitate.fukushima.jp
 氏名・人数・住所・電話番号をお知らせください

主催 飯館村自主文化事業実行委員会

〈編集後記〉

大雷神社の桜まつりを

います。（巻野）

取材した際、昼と夜で見せる桜景色の違いに感動しました。子どもの頃から見ていたはずなのに、大人になって改めてその美しさに気づき、自分が知ったつもりでいるだけで、もっとたくさんの知らない魅力や風景があるんだろうなとわくわくしました。最近バイクを買ったので、村の中を走り回って、たくさん写真を撮ろうと思

桜イベントでは降り注ぐように咲く桜の下で穏やかな交流の時を楽しみました。知られた名所以外にも庭や畑が色とりどりの花で彩られ飯館村は春一色。避難による暮らしの変化で自宅を解体した方が手入れを続ける庭も数々あり、皆さんのまideaやさしさを故郷への想いも一緒に咲いていくように残る美しい春でした。（星）